

随意契約結果及び契約の内容

業 務 の 名 称	令和3年度阿蘇カルデラ内斜面崩壊調査検討業務
業 務 概 要	別紙のとおり
契約担当官等の氏名並びにその所属する部局の名称及び所在地	分任支出負担行為担当官 九州地方整備局 阿蘇砂防事務所長 吉田 桂治 熊本県熊本市東区下南部1-4-73
契 約 年 月 日	令和 3年 8月 6日
契 約 業 者 名	令和3年度阿蘇カルデラ内斜面崩壊調査検討業務 大日本コンサルタント(株)・日本工営(株)設計共同体
契 約 業 者 の 住 所	福岡県福岡市博多区東比恵4-2-10
契 約 金 額	19,877,000円(税込み)
予 定 価 格	19,877,000円(税込み)
随意契約によることとした理由	別紙のとおり
業 務 場 所	阿蘇砂防事務所管内
業 種 区 分	土木関係建設コンサルタント業務
履 行 期 間 (自)	令和 3年 8月 7日
履 行 期 間 (至)	令和 4年 3月15日
備 考	

契約理由書

1. 業務件名 令和3年度阿蘇カルデラ内斜面崩壊調査検討業務
2. 履行場所 阿蘇砂防事務所管内
3. 契約の相手方 令和3年度阿蘇カルデラ内斜面崩壊調査検討業務大日本コンサルタント（株）・
日本工営（株）設計共同体
住 所：福岡県福岡市博多区東比恵4-2-10
会社名：大日本コンサルタント株式会社 九州支社
電 話：092-289-1841

住 所：福岡市博多区東比恵1丁目2番12号
会社名：日本工営株式会社 福岡支店
電 話：092-475-7565

4. 契約適用法令：会計法第29条の3第4項及び
予算決算及び会計令第102条の4第三号

5. 当該業務の目的・内容及び契約に付する理由

1) 当該業務の目的

本業務は、今後の砂防事業優先箇所検討の基礎資料及び工事の安全性確保の基準を確定するため、地盤の比抵抗値の取得および溪流水の水文調査を行い、地盤の比抵抗から地下水の流動や分布を把握する調査方法、また、地下水分水界を把握した上で、地盤の比抵抗の変動に着目した地下水の評価方法について検討するものである。検討した結果を用いて、出水後の土砂災害危険度評価を検討するとともに、工事現場の安全性確保の基準を作成する。

2) 業務の内容

斜面崩壊調査検討	・・・1式
計画準備	・・・1式
地下水に関する比抵抗および水文特性等の調査及び調査箇所選定	・・・1式
地盤の比抵抗の変動に着目した地下水の評価方法の整理	・・・1式
出水後の無降雨状態での土砂災害危険度評価の検討	・・・1式
砂防堰堤整備中の工事現場における出水後の工事再開基準の検討	・・・1式
報告書の作成	・・・1式

3) 契約に付する理由

本業務の契約方式は、技術提案の公募を行い、提案のあった内容を総合的に評価し、契約の相手方を特定するプロポーザル方式である。

参加可能業者が最低20者あることを確認の上、技術提案書の提出を公募したところ、申請期間内に電子入札システムを通じ業務説明書を26者入手（ダウンロード）し、2者から参加表明書が提出され、2者が参加資格を有していた。

参加資格を有する参加表明書提出者のうち2者を技術提案書の提出者として選定し、2者から技術提案書が提出された。

建設コンサルタント業務等請負業者選定事務処理要領及びプロポーザル方式による建設コンサルタント等の特定手続きにより技術提案書を審査した結果、契約の相手方は、本業務を遂行するために必要な配置予定技術者の資格及び実績等、配置予定技術者の成績及び表彰、実施方針及び特定テーマに係る技術力を備えていると判断される。

特に評価テーマの「地盤比抵抗の変動に着目した測点の留意点」に対する技術提案について着眼点、問題点、解決方法等が的確かつ理論的に整理されており、本業務を遂行するにあたって最も優れた提案が行われていたものである。

よって、会計法第29条の3第4項及び予算決算及び会計令第102条の4第三号により、上記契約相手方と契約を締結するものである。

(契約理由書作成者)

阿蘇砂防事務所 調査課長